

病院と地域のつながりを深めよう

広島大学病院 在宅緩和ケア事業研修会

(会場／オンライン開催)

要申込

■ テーマ

治療とケアのゴールを話し合う —ACPとEnd-of-Life Discussionについて考える—

■ 講師

神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科

特命教授 木澤 義之 先生



ACPIは、『患者・家族・医療従事者の話し合いを通じて、患者の価値観を明らかにし、これからの治療・ケアの目標や選好を明確にするプロセス』と定義される。その過程においては、身体的なことにとどまらず、心理的、社会的、スピリチュアルな側面を含むこと、治療やケアの選好は定期的に見直されるべきであること、医療代理人の選定や医療・ケアの選好などの話し合いの結果を文書化してもよいことなどが重要であるとされている。質の高いACPIには、まずEOLD(End-of-Life Discussion)が必須であり、両者に共通するのは、病状の認識を共有した上で、治療とケアのゴールを話し合うことである。この古くて新しい話題を参加者の皆様と考えていきたい。

司会・進行：倉田 明子(広島大学病院 緩和ケアチーム医師)

■ 日時・場所

2021年2月5日(金) 18:30~20:00

広島大学病院 臨床管理棟3階 大会議室 および zoom

■ 対象者・定員

がん診療に携わる医師・看護師・薬剤師 他 医療従事者 (会場定員:30名)

■ 申込方法 (以下のいずれかの方法でお申し込みください)

①QRコード

申込フォームに
入力し送信して
ください



②メール

本文に氏名・フリガナ・所属施設・職名・
参加方法(会場かzoom)をご記載のうえ
下記アドレスに送信してください

byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp

■ 申込締切

2020年1月29日(金) 17:00

※木澤先生には神戸よりオンラインでご講演いただきます

お問い合わせ：広島大学病院医療支援グループ ☎082-257-5934

(主催) 広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院)

(共催) 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム 広島大学がん専門医療人材 (がんプロフェッショナル) 養成プラン